

堤防の質的整備の推進（急流河川対策） きゅうりゅうかせんたいさく

てどり
手取川水系手取川（石川県能美市）
のみ

1. 事業の概要

手取川は、流域の9割を山地が占め、水源から河口までの平均勾配が約27分の1という我が国固有数の急流河川です。

急流河川という特性から、洪水時の川の流れは非常に大きなエネルギーを持っており、これまでも幾度となく堤防が破堤し、大きな被害をもたらしてきました。

このため、急流河川の洪水エネルギーに対して、十分な安全性を確保するため、既設堤防を拡幅するとともに光ファイバーケーブルによる侵食モニタリングセンサーの整備を実施します。

2. 事業の経緯

堤防の質的整備については、平成16年度より事業に着手しました。

3. 平成19年度の実施内容

平成19年度は、洪水時の局所的な洗掘・侵食から堤防を保護するため、能美市
でぐち
出口地区において、急流河川対策（腹付け盛土）を推進します。



平成18年5月撮影

急流河川対策（イメージ）

